

事業評価調査(目的設定、中間評価、事後評価)

(評価年度: 令和6年度)

事業計画概要（目的設定・年間計画・事業計画）				計画年度：令和6年度		
政策	3 観光・交流戦略					
目指す姿	5 国内外との交流と住民の暮らしを支える交通ネットワークの構築					
施策の方向性	④ 第三セクター鉄道の持続的な運行と観光利用の促進					
事業名	第三セクター鉄道事業再構築推進事業			事業年度	R7	年度～
						年度
部局名	観光文化スポーツ部	課室名	交通政策課			
チーム名	地域交通チーム					

1 事業実施の背景及び目的

第三セクター鉄道の持続的な運行を図るため、鉄道事業再構築実施計画に基づき、鉄道の安全運行に必要な施設改修費及び維持管理費等に対する補助を行うほか、経営の安定を図るため、第三セクター鉄道事業の運営に必要な経費についても補助を行う。

2 事業概要及び財源

(単位: 千円)

	事業内訳	概要	令和7年度 予算額	令和6年度 決算(見込)額	最終年度 決算(見込)額
1	鉄道軌道輸送対策事業費補助金(秋田内陸縦貫鉄道)	鉄道の安全運行に必要な施設の改修や大規模修繕に対して助成する。	236,985		
2	鉄道軌道輸送対策事業費補助金(由利高原鉄道)	鉄道の安全運行に必要な施設の改修や大規模修繕に対して助成する。	42,850		
3	地方鉄道運営費補助金(秋田内陸縦貫鉄道)	秋田内陸縦貫鉄道の運営費に対する補助	33,750		
4	地方鉄道運営費補助金(由利高原鉄道)	由利高原鉄道の運営費に対する補助	14,000		
5					
その他合計 (件)					
財源内訳		左の説明	327,585		0
国庫補助金					
県債			184,300		
その他					
一般財源			143,285		0

3 事業の効果を把握するための手法及び効果の見込み

【指標Ⅰ】

指標名	経常損失額(秋田内陸線)(円)【成果指標】									
指標式	経常損失額(秋田内陸線)									
出典	秋田内陸縦貫鉄道株式会社									
把握時期	翌年度6月									
年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度
目標a								165,000	165,000	148,000
実績b	189,468	188,224	184,158	198,233	193,175	198,893				
b/a										

【指標Ⅱ】

指標名	経常損失額(鳥海山ろく線)(円)【成果指標】									
指標式	経常損失額(鳥海山ろく線)									
出典	由利高原鉄道株式会社									
把握時期	翌年度6月									
年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度
目標a								92,000	92,000	92,000
実績b	97,442	98,135	95,714	100,353	96,715	105,745				
b/a										

◎指標を設定することができない場合の効果の把握方法

①指標を設定することができない理由

②見込まれる効果及び具体的な把握方法(データの出典含む)

事業評価調査(目的設定、中間評価、事後評価) (評価年度: 令和6年度)

事業計画調査（目的設定、年間計画、事後計画）				（計画年度：令和6年度）		
政策	3 観光・交流戦略					
目指す姿	4 活気あふれる「スポーツ立県あきた」の実現					
施策の方向性	④ スポーツ活動を支える人材の育成と環境の整備					
事業名	新県立体育館PFI事業			事業年度	R7	年度～
					R25	年度
部局名	観光文化スポーツ部		課室名	スポーツ振興課		
チーム名	新体育館整備チーム					

1 事業実施の背景及び目的

築56年が経過し老朽化が進んでいる県立体育館について、スポーツ科学センターと機能統合した上で、アリーナ機能を付加した施設として整備する。

2 事業概要及び財源

(単位: 千円)

	事業内訳	概要	令和7年度 予算額	令和6年度 決算(見込)額	最終年度 決算(見込)額
1	新県立体育館整備・運営事業	PFI手法を活用し、新県立体育館の整備及び運営を行う(R7年度は、設計業務、準備工事等を実施。R8～R25で別途343.7億円の債務負担行為を設定済み。)	2,064,612		
2	新県立体育館モニタリング事業	新県立体育館整備・運営事業に係るモニタリング(業務の監視)を行う。	6,677		
3					
4					
5					
その他合計 (件)					
財源内訳			2,071,289	0	0
左の説明					
国庫補助金			437,089		
県債			1,318,500		
その他					
一般財源			315,700	0	0

3 事業の効果を把握するための手法及び効果の見込み

【指標Ⅰ】

指標名										
指標式										
出典										
把握時期										
年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度
目標a										
実績b										
b/a										

【指標Ⅱ】

指標名										
指標式										
出典										
把握時期										
年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度
目標a										
実績b										
b/a										

◎指標を設定することができない場合の効果の把握方法

①指標を設定することができない理由

新県立体育館の整備効果は、開館予定時期である令和10年秋以降に発揮されるため、7年度から10年度の施設整備期間中は、適切な指標の設定が困難である。

②見込まれる効果及び具体的な把握方法(データの出典含む)

PFI事業者が実施する業務が、要求水準や提案に沿った内容となっているかについて「新県立体育館モニタリング事業」により監視し、当該業務の適正な水準を確保する。